

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 9 月 2 日

評価対象事業		評価者	保険年金課長	鷲尾 礼弁
健福-50	実施事業	後期高齢者医療事業(特別会計)	■ 自治事務 □ 法定受託事務	主管課 保険年金課 関連課
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	市民の健康と安心づくりの推進

1 事業の目的

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

対象	75歳以上(一定の障害のある方は65歳以上)の被保険者	・神奈川県後期高齢者医療広域連合が市町村と連携して、医療の給付などの高齢者の医療制度を運営した。市は申請の受付や証の引渡し等の窓口業務の他、保険料の徴収を行った。
意図	高齢者の適切な医療の確保を図り、その医療費要する費用負担を公平にするため。	
効果	高齢者の保険の向上及び福祉の増進を図る。	

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	各年3月31日(住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	世帯数	83,058世帯	
	事業の対象者数	30,190人	事業の対象者数	30,672人	
運営資源状況	決算値(千円)	5,347,342	当初予算(千円)	5,947,765	
	国県支出金	0	国県支出金	0	
	地方債	0	地方債	0	
	その他	3,543,417	その他	3,939,498	
	一般財源	1,803,925	一般財源	2,008,267	
	人員配置数	6.3	人員配置数	5.3	
事業運営経費	人件費(千円)	48,921	人件費(千円)	52,049	
	総事業費(千円)	5,396,237	総事業費(千円)	5,999,814	
	市民1人当りの経費(円)	30,607	市民1人当りの経費(円)	33,972	
	対象者1人当りの経費(円)	181,618	対象者1人当りの経費(円)	195,612	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか 関連・類似事業との統合はできないか	2. ない 3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか 事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい 今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、ニーズに応じて実施する事業ではない 9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない 9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか 事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない 4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-負担導入済 ○-2. 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-協働未実施 協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 高齢化の加速に伴い、今後益々の被保険者増が見込まれるため、予算規模の拡大はやむを得ないが、保険料収納率の向上に努め、安定した制度運営を図る。事業の方向性は現状維持とする。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	県下トップレベルの保険料収納率を維持し、後期高齢者医療保険財政の安定化を図ることで、保険制度の適正な運用を行い、医療を必要とする割合が高くなる高齢者が、自立した生活を送れ、さらに適切な医療が受けられることに寄与する。	

令和元年度(2019年度)事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	後期高齢者医療保険料の納付については、原則特別徴収(公的年金からの天引き)となっているが、制度上特別徴収できない被保険者がおり、徴収率の向上を図る上での課題となっている。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	保険料の滞納処分につとめ、一部債権は債権管理課に移行するとともにペイジー・システムにより口座振替を推奨し、保険料の収納率向上に努めるなど後期高齢者医療事業の安定的な財政面での運営に努めている。また、医療費適正化の観点では、引き続き医療費通知及び後発医療品を使った場合の医療費減をお知らせするジェネリック医療費通知を継続している。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	後期高齢者医療保険料の納付については、原則特別徴収(公的年金からの天引き)となっているが、制度上特別徴収できない被保険者がおり、徴収率の向上を図る上での課題となっている。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	令和元年度保険料徴収率(単位:%)									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績	99.45%	99.46%	99.35%	99.37%	99.38%	99.26%	99.51%	99.15%	98.87%	
比較事項	令和元年度被保険者割合(単位:%)									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績	17.78%	12.45%	13.69%	13.75%	15.06%	17.01%	17.98%	18.76%	20.62%	
比較事項	令和元年度被保険者数(単位:人)									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績	30,672	54,184	33,115	35,417	28,516	66,443	5,668	10,684	8,667	
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方										

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	保険料収納率	単位	%	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	R02(2020)
保険料収納率を高めることで、後期高齢者医療保険財政の安定化を図り、保険制度の適正な運用を行うため。	目標値	99.17	99.31	99.52	99.53	99.54	99.55
	実績値	99.45	99.52	99.43	99.42	99.55	99.45
	達成率	100.3%	100.3%	99.9%	99.9%	100.0%	99.9%
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)
	目標値						
	実績値						
	達成率	#DIV/0!	100.3%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)
	目標値						
	実績値						
	達成率	#DIV/0!	100.3%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方							